

第15回 四大学連合文化講演会

学術研究の最前線

Tokyo-4Univ.レクチャー

環境・社会・人間

オンライン配信

2020.10.11 Sun 13:00~16:30

定員: 500名 (申込順) 視聴無料

主催: 四大学連合 (東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学)

企画: 四大学連合附置研究所

後援: お茶の水会、東京外語会、蔵前工業会、如水会

《講演者・講演要旨》

東京医科歯科大学
大学院医歯学総合研究科
ウイルス制御学分野 教授

山岡 昇司

(やまおか しょうじ)

人類と感染症

新型コロナウイルスの大流行は、グローバル化を進め発展してきた人類に新たな課題を突きつけました。この講演では、人類の歩みを感染症の歴史とともに振り返り、ヒトと病原体との関係をみなさんとともに考えてみたいと思います。



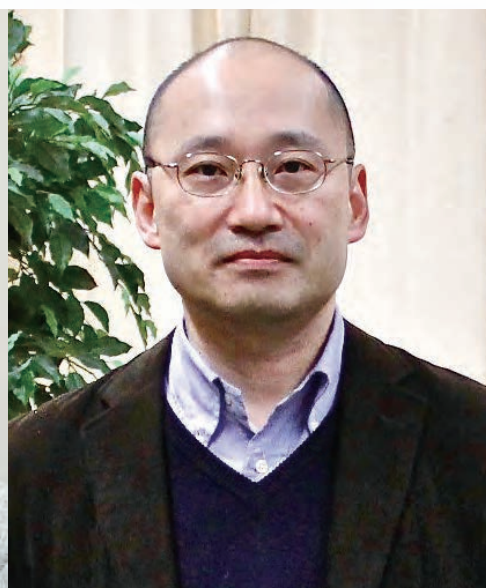
東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所
教授

高松 洋一

(たかまつ よういち)

愛書家の皇帝:マフムト1世 (1730-1754)の築いた 「アヤソフイヤ図書館」

三大陸に広大な版図を誇った近世の「超大国」オスマン朝は、イスラーム文化の継承にも大きな貢献を果たした。希代の愛書家として知られるマフムト1世が築いたオスマン図書館史の黄金時代を、写本に残されたメモから現代に蘇らせる。



東京工業大学
科学技術創成研究院 教授

中村 浩之

(なかむら ひろゆき)

がんの低侵襲治療法 (中性子捕捉療法): 承認までの軌跡と今後の展望

ホウ素10の熱中性子捕獲反応により生ずる α 線を利用する中性子捕捉療法は、がんの低侵襲治療法の1つとして注目されており、今年3月に世界に先駆け我が国で頭頸部がんに対し承認されました。本講演では、承認までの軌跡と今後の展望について解説します。



一橋大学
経済研究所 准教授

有本 寛

(ありもと ゆたか)

「途上国」日本の開発経済史

現在の発展途上国が抱える開発課題の多くは、実は「途上国」時代の日本も直面していました。そうした課題に、かつての日本はどう対応したのか、その経験から得られる教訓と、そこからみえる「日本のかたち」について、具体的な事例を交えて紹介します。



オンライン配信 について

文化講演会は、例年、講演会場にて開催しておりましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、インターネットでの配信にて開催いたします。

お申し込み オンライン文化講演会は、視聴申込みサイトでの受付のみになります。

視聴申込みサイト

http://www.tokyo-4univ.jp/lecture_information/

※ お申込みいただいた個人情報はご本人の承諾なく本講演会の実施目的以外には使用いたしません。



お問合せ先 / 東京工業大学 科学技術創成研究院業務推進課 四大学連合文化講演会事務担当
〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1 E-mail:tokyo4univ2020@jim.titech.ac.jp